令和７年度「人権教育研究推進事業」研究指定校事業

都道府県・指定都市名（　愛媛県　）

１．基本情報

研究指定校名	砥部町立麻生小学校

○これまでの研究指定等の状況

－

○学級数

18 学級（うち特別支援学級：３学級）

○児童生徒数

440 人（令和 8 年 1 月 31 日現在）

○URL

https://aso-e.esnet.ed.jp

２．調査研究のテーマ、概要、指定理由

調査研究のテーマ	多様なかかわりを通して、豊かな心を育む学びの実現

○調査研究のテーマを設定した目的

本校では「心豊かでたくましく生きる麻生っ子の育成」を教育目標に掲げ、目指す子ども像を「夢に向かって努力する子」「仲間を認め大切にする子」「自分の思いを伝え合う子」「ふるさと麻生を愛する子」として、徳・知・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進している。本校児童 430 名は、素直で明るく、課題に真面目に取り組み、友達とかかわり合って対話を楽しみながら活動をしている。

全校児童を対象に人権意識に関する調査を行った結果、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」「友達と協力して行動しているか」の項目に対しては、肯定的な回答の割合が高かった。一方で「自分のよいところを知っているか」「いじめをなくすために自分から行動できるか」の項目では、他の項目に比べて否定的な回答の割合が高く、自己肯定感や主体的行動力に課題があることが分かった。また、自分の考えを表現することが苦手な児童もおり、自分の思いを相手に伝えることができず、気持ちのすれ違いや勘違いが原因となってトラブルが起こるなど、「かかわり」

に課題が見られる。
　そこで、自分、他者、郷土等との多様なかかわりを通して、人権感覚を養い、様々な人権課題を自分事として捉え、主体的に行動・解決しようとする学びの実現を図りたい。そうすることで児童一人ひとりが豊かな心を育み、自分も友達も麻生も大好きな児童が育つのではないかと考え、本研究のテーマを設定した。

〇調査研究の概要

　様々な人権課題への理解を深めるための教職員研修を充実させることで、教職員の人権意識や指導力を高める。そして、人権・同和教育の視点を明確にした授業改善を行い、教科等横断的に人権学習に取り組み、人権が尊重される温かい人間関係づくりに努めることで、児童の人権意識を高め、様々な人権課題の解決に向けて主体的に行動する力を育てる。また、機会を捉えて家庭への啓発を行ったり、学校運営協議会との連携を図ったりすることで家庭や地域とともに人権・同和教育を推進する。

〇指定理由

　本校は、令和６年度愛媛県人権教育研究推進事業人権教育研究指定校として、研究テーマを「多様なかかわりを通して、豊かな心を育む学びの実現」とし、実践を積み上げてきた。その中で、様々な人権課題への理解を深めるために教職員研修を充実させ、人権意識や指導力を高めるとともに、教科等横断的な視点で教育課程を見直し、人権学習に取り組んできた。
　さらには、コミュニティ・スクールの導入で、学校と地域とのつながりが深まり、多様な視点や経験を持つ人々との交流が増えた。それにより、児童の人権感覚が養われ、人権課題を自分事として捉え、主体的に行動・解決しようとする態度の育成につながっている。このような１年間の研究・実践を基に、更に人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資することを目的とした実践的な研究を実施すれば、人権教育の一層の推進が期待できる。

３．取り組んだ人権課題

※　該当するものに〇印。複数選択可。うち、最も主要な人権課題１つに◎印。
※　下線部は、令和７年度事業における重点課題。

① 子供	〇
② 女性	
③ 高齢者	〇
④ 障害者	〇
⑤ 同和問題	◎
⑥ アイヌの人々	
⑦ 外国人	
⑧−１ HIV 感染者等	
⑧−２ ハンセン病患者等	
⑨ 刑を終えて出所した人	
⑩ 犯罪被害者等	
⑪ インターネットによる人権侵害	〇
⑫ 北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬ 性的指向、性自認	
⑭ その他（　　）	

４．調査研究の内容等

〇調査研究の内容

ア　様々な人権問題に関する研修を充実させ、人権・同和教育の視点を意識して諸計画を見直したり、授業改善を行ったりすることにより、教職員の人権意識と指導力が養われるであろう。
イ　教科等横断的に人権学習に取り組み、人権が尊重される温かい人間関係づくりに努めることにより、児童の人権意識が高まり、様々な人権課題の解決に向けて主体的に行動する力が育つであろう。
ウ　家庭及び地域に情報を発信し、積極的に連携を図りながらともに学ぶことにより、学校・家庭・地域が連携した人権・同和教育を推進することができるであろう。

〇実施方法

ア　教職員の人権意識や指導力を高める現職教育の充実

（ア）様々な人権課題に対する理解を深め、人権意識を高めるための研修

人権・同和教育を進める上で、全教育活動に含まれる人権の視点を、改めて強く自覚することが研究の第一歩だと考え、教職員研修を進めた。研修では、長く人権・同和教育に携わってこられた講師の方に講話をしていただいた。また、教職員の人権意識や人権感覚を培うとともに、実践力の向上を図るために、輪番制によるミニ研修を行った。本校が重点的に取り組む人権課題について学び合い、意見を伝え合いながら人権課題を自分事と捉え、一人ひとりの人権意識を高めることができるよう努めた。

（イ）教科等横断的な学習を進めるための諸計画の見直し及び作成

「令和７年度人権・同和教育指導の手引」（愛媛県教育委員会人権教育課）、「『第三次とりまとめ』人権教育を通じて育てたい資質・能力」を基に、人権・同和教育の進め方について教職員の共通理解を図り、人権・同和教育全体計画の見直しを行った。年間指導計画は、人権・同和教育の視点で内容を見直し、各教科等との関連や指導時期について検討した。また、教科等横断的な学習を進めるために、年間指導計画を基に、単元配列表を作成した。各教科、道徳科、特別活動（学級活動・児童会活動・学校行事）、総合的な学習の時間、家庭・地域との連携における、相互の関連性や系統性を考慮し、つながりを意識して計画的に人権・同和教育を推進していくことができるように作成し、活動しながらその都度見直し・改善を行った。

（ウ）人権・同和教育の視点を明確にした授業改善

児童の人権意識の現状を把握し、課題を明らかにすることで今後の取組に役立てられるよう、「自分が好き・友達が好きアンケート」を作成した。本校の重点課題について、「知識的側面」「価値的・態度的側面」「技能的側面」の実態を見取ることができるよう質問項目を設定した。また、従来の学習指導案の形式に人権・同和教育の視点を位置付け、人権・同和教育の視点を意識した授業の実践ができるようにした。

イ　様々な人権問題の解決に向けて人権意識を高める教育活動の充実

（ア）教科等横断的に取り組む人権学習

〇　上級生や幼児との交流活動を通じた心の育成

（【子供】１年　生活科、道徳科、特別活動）

異年齢集団（なかよし班）での活動や生活科における２年生との交流活動などで上級生とかかわり、人と交流することの楽しさや喜びを味わわせた。また、上級生とのかかわりを生かして、生活科「みんなであきを楽しもう」で幼児とのよりよいかかわりができるようにした。

〇　高齢者や障害のある方などへの理解を深め、住みよい町にしようとする態度の育成

（【子供】【高齢者】【障害者】４年　国語科、社会科、道徳科、総合的な学習の時間）

総合的な学習の時間では、「住みよい町にするために自分たちにできること」をテーマに福祉体験と調べ学習に加え、福祉に関わりのある人と交流を行った。また、学習時期を合わせて道徳科で親切に関する学習を行い、相手の思いに寄り添うことや互いに認め合うことの大切さについて考え、あらゆる立場の

人にとって住みよい町にするために自分たちにできることを考えさせた。

○　同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に向けて主体的に行動し、解決しようとする態度の育成

（【同和問題】【子供】６年　社会科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間）

社会科の歴史学習を中心に同和問題の歴史的背景を学ぶことで、正しい理解と認識を深められるようにした。また、差別に対する憤りをもたせ、差別に立ち向かった人たちの思いについて理解を深めさせた。さらに、道徳科や学級活動等で同和問題に関連する学習を行うことで、人権感覚を磨き、自他の権利を尊重する態度を身に付けさせることを目指した。

（イ）人権が尊重される温かい人間関係づくり

○　「麻生っ子スマイルトーク（話合い活動）」による自分の思いや考えを表現し聴き合う活動の充実

ペアやグループでの話合いを「麻生っ子スマイルトーク」と位置付け、全ての学習活動で取り組んだ。発達段階に応じて、自分の考えを伝え合うことから始め、話合いの充実を図り、互いの考えを聴いて練り合い、高め合うことができるように、「麻生っ子スマイルトーク」の活動を積み重ねている。「麻生っ子スマイルトーク」を充実させるために、低学年では、友達の考えをしっかり聴くことができるように工夫した。また、中学年や高学年では、思考ツールを使って、自分の考えを明確にし、一人ひとりの考えを可視化するようにした。友達の考えとどこが違うのか、どのくらい違うのかを意識しながら話合いを進め、自分の考えと友達の考えを比較しながら学び合いができるようにした。

○　構成的グループエンカウンターの実践による人間関係を広げ深める活動の工夫

友達同士での相互理解やコミュニケーション能力の向上、学級内での信頼関係の構築を図るために、構成的グループエンカウンターを活用した授業実践を行った。構成的グループエンカウンターの活動を年間指導計画に位置付け、各学年の発達段階に応じて、構成的グループエンカウンターの活動を精選し、各学期に一回、取り入れた。

○　なかよし班活動（異年齢集団活動）による仲間意識を育む活動の工夫

１年生～６年生の異年齢でなかよし班を編制し、「なかよし班清掃」や「なかよしタイム」、「ウォークラリー遠足」などの活動を行った。異年齢とのかかわりの中で継続的な活動を行うことで、人間関係が広がり、互いを思いやり、協力し合う気持ちを育てることにつながった。

○　全校お楽しみ集会や人権集会による互いのよさを認め合える場の充実

有志の児童が発表者として出場し、好きなことや特技を表現し、見てもらう機会として「麻生っ子お楽しみ集会」を行った。全校一体となって盛り上がり、互いのよさを認め合うなど、児童が主体的に楽しく過ごせるようにした。また、友達とのかかわり方や相手を思いやる言葉遣いについて考える機会をもたせるために、「みんな幸せぽかぽか集会」と題して人権集会を実施した。集会の中で友達とのかかわりについて考えたり、構成的グループエンカウンターの活動で実際に友達とかかわる体験をしたりすることを通して、それぞれの発達段階に応じて自分の生活と重ねながら、自分事として振り返り、みんなが幸せな気持ちで過ごすために自分にできることをしていこうとする意欲を高めた。

○　「ジブンミカタプログラム」の活用による人間関係構築力の育成

児童に月１回、１人１台端末上で回答するセルフチェックに基づく実践、振り

返りを行わせることで、自己理解・他者理解を進め、安心できる人間関係を構築し、自分らしくいられるための力を育てられるようにした。児童一人ひとりが日々の生活でアクションを実践することで、人とよりよくかかわっていくためのスキルの育成につながると考えた。

ウ　学校・家庭・地域が連携した人権・同和教育の推進

（ア）機会を捉えた家庭への啓発の充実

ホームページや学年便り、学校便りで、学校行事や各学年の活動の様子を紹介した。特に、日々の活動の中で児童が協力している場面や、児童同士の何気ない会話の中に温かさを感じる場面を見付けて発信した。また、人権・同和教育参観日の様子や人権集会の児童の感想を掲載したり、人権・同和教育参観日や人権集会に参加してくださった保護者の感想を掲載したりして、積極的な情報発信を行いながら、人権意識を高められるよう努めた。

（イ）家庭・地域とともに行う人権教育の実施

〇　人権・同和教育参観日の実施

児童の人権意識を高めるとともに、家庭と学校が連携して人権・同和教育の推進を図るために人権・同和教育参観日を実施した。事前に各学級の学習のねらいを家庭に知らせ、授業の感想をいただくようにして、学校としての取組を理解していただいたり、家庭で授業について話し合うきっかけとしたりして、保護者と共に同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けて考える機会となるようにした。

〇　保護者や地域の方による人権に関する本の読み聞かせ（レインボーポケット）

月に一度レインボーポケット（保護者、地域の方による読み聞かせボランティア）に来ていただき、朝の学習の時間に本の読み聞かせを実施した。令和７年度６月の読み聞かせは、「人権」をテーマに本を選んでいただき、実施した。

（ウ）学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用した活動

「麻生を、砥部を愛する子どもの育成」の目標の下、「学校・地域連携カリキュラム」を作成し、各学年で地域と連携しながら、教育実践を行った。様々な世代の方と実践的・体験的にかかわり合える場は、相手を思いやる心、コミュニケーションスキル等を身に付けていく上で、大切な機会となった。その際、地域学校協働活動推進員を中心に適切な人材を紹介してもらった。学校だけでは限界のある地域人材の発掘を、推進員の協力により円滑に進めることができた。また、予想以上に多様な方がかかわってくださるようになり、地域の方にも学校の教育活動に協力したいという潜在的な思いがあったことを知ることもできた。

〇検証・評価・改善・普及

＜検証・評価・改善＞

ア　教職員の人権意識や指導力について

教職員の人権意識調査（アンケート）では、「人権・同和教育の推進に努めていますか」という問いに対して肯定的な回答が 95%であった。人権・同和教育について講師を招いての研修や各部会で定期的な話合いなどの研修の機会を増やしたことや、多くの教職員が校外の研修にも積極的に参加した成果と考えられる。また、「児童や同僚の気持ちを尊重した言葉遣いで話していますか」との問いに対して肯定的な回答が 100%であった。ミニ研修で様々な活動も取り入れながら実感を伴った学びがあり、それぞれの教職員が実践した成果と考える。一人ひとりの教職員が

人権・同和教育の視点を持って児童にかかわることでかかわり方が大きく変わることや、それが児童の人権意識の向上にもつながることが実感できた。一方で、５％の教職員が否定的な回答となった。研修を積み重ねたことにより、さらに取り組むべき部分や児童の気になる部分に新たに気付くことができたからだと推察することができる。今後も人権・同和教育の研修の機会をしっかりと確保し、教職員自ら学ぶ姿勢を大切にしていきたい。

イ　児童への人権意識調査（アンケート）の実施や活動後の感想等において、三つの側面に基づく児童の変容に関する検証

※　児童への人権意識調査（アンケート）は、令和７年５月と令和７年 12 月の実施結果の比較

（ア）知識的側面からの比較・検証

「自分のよいところを知っているか」との問いに対し、肯定的な回答が 76%から 78%に増えた。「すべての人が、大切にされなくてはならないか」との問いに対し、肯定的な回答が 93%から 94%にやや増えた。このことから自分のよさを自覚できた児童が増えたと考える。全教職員が一人ひとりを大切にすることを意識して接したり、道徳科や学級活動、人権集会等で、自分自身とのかかわりを深める機会を設け、自分のよさを見つめる活動を積極的に取り入れたりした成果と推察する。

（イ）価値的・態度的側面からの比較・検証

「友達と仲良くなれるよう、自分から行動しているか」との問いに対し、肯定的な回答が 89%から 91%に増えた。「よりよい仲間づくりに、進んで参加しようと思うか」という問いに対し肯定的な回答が 93%から 94%に増えた。麻生っ子スマイルトーク（話合い活動）を積み重ねることで、自分とは異なる多様な意見を受け入れ、みんなで協力していこうと考える児童が増えたことがうかがえる。また、なかよし班活動（異年齢集団活動）や学校行事、地域での学習活動を通して、助け合おうとする仲間意識に支えられた関係づくりができつつある。このように学校内外の多様なかかわりを通して、自他の相違を認め、友達やふるさとに進んでかかわろうとするなどの児童の変容が見られた。

（ウ）技能的側面からの比較・検証

友達の話や意見を、最後まで聞くことができているか」との問いに対して肯定的な回答が 94%から 96%に増えた。「友達と協力して行動するようにしているか」の問いに対して肯定的な回答が 94%から 96%に増えた。道徳科をはじめ、各教科の学習において、よくないと思ったことを見過ごさず、自分にできることを考えて行動することの大切さを学んだことで、主体的に行動しようとする力が高まったと思われる。そして、かかわりを通じて得た仲間の大切さや、仲間づくりの楽しさを味わわせることで、差別やいじめ解消のための協力者の必要性に気付くことができたのではないかと考える。

ウ　家庭及び地域への啓発について

12 月に行った学校評価アンケートでは、「学校は人権・同和教育や道徳教育の推進に努めているか」との問いに対して肯定的な回答が昨年度の 12 月の 90%から 94%に増えた。また、「仲間意識が育っているか」との問いに対して肯定的な回答が 84%から 87%に増えた。ホームページや学年通信等での発信を続けてきたことが、保護者や地域の方にも学校の取組を知っていただくことにつながったと推察す

る。また、家庭及び地域と共に人権・同和教育を進めることにもつながっていると考える。

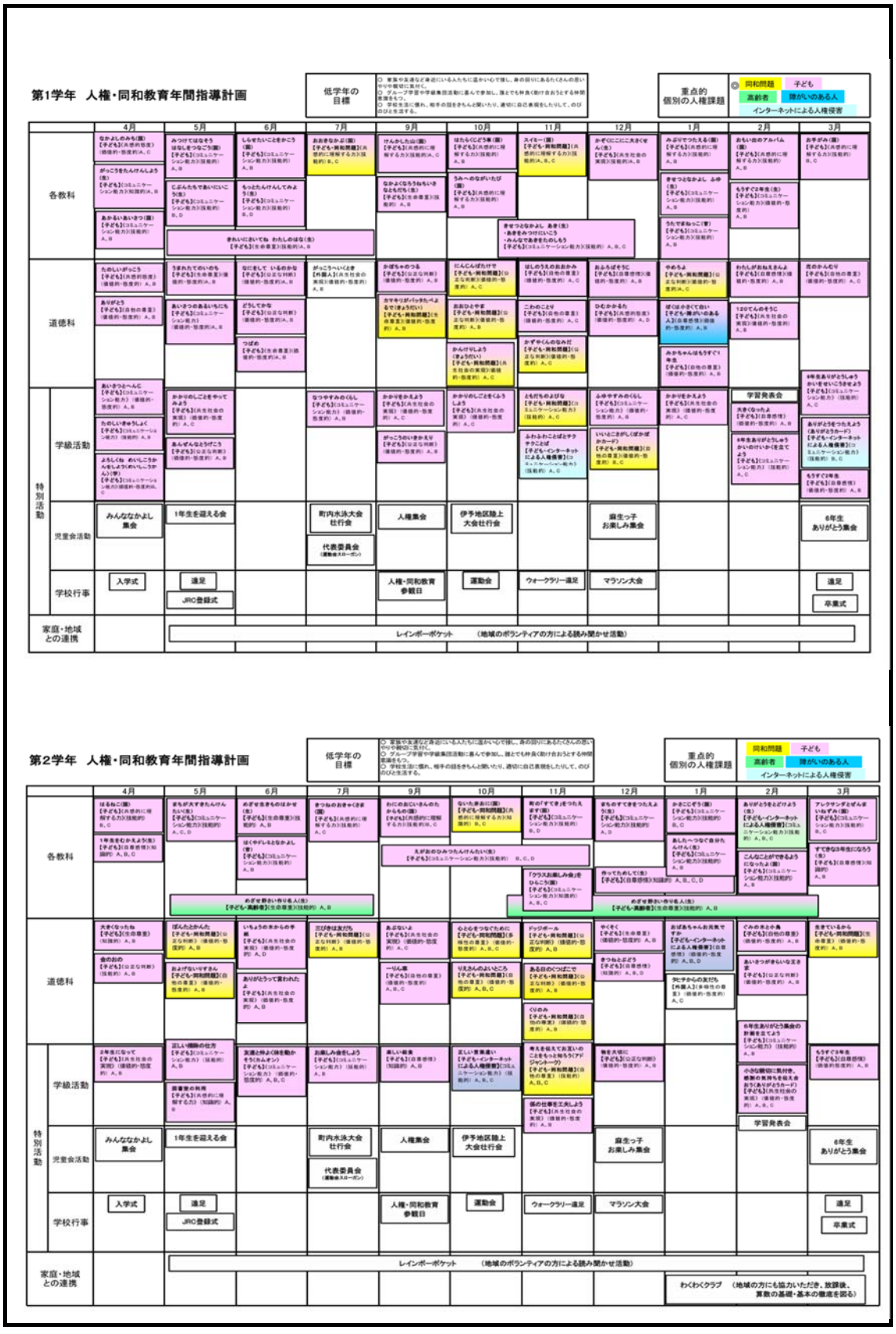
＜普及＞

ア　人権・同和教育の視点を意識して学年通信、ホームページで学校の取組や児童の学びの様子を今後も継続的に発信する。

イ　人権・同和教育参観日等で人権やかかわりについて考える機会を設け、児童と保護者への啓発や連携の強化を図る。

ウ　学校運営協議会を中心に学校内外おける多様なかかわりを継続し、より一層の連携を図る。

５．人権教育にかかる年間指導計画



第3学年　人権・同和教育年間指導計画

中学年の目標

○ 自他の相違を認め、尊重しようとする意識を高め、他の人と対等で豊かな関係を築くための心地よさを味わう。
○ 身近な生活の中にある偏見や差別に気付き、理想に向かって話合いで解決していこうとする態度を身に付ける。
○ いろいろな立場の人との交流から学びを深め、相手の立場に立ちよりよい社会を築いていこうとする態度を身に付ける。

重点的個別の人権課題

同和問題　子ども
高齢者　障がいのある人
インターネットによる人権侵害

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科	合い言葉は(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C 学校のまわり(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的)A、C ひもをつないで(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、C	たからものをしょうかいしよう(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(知識的) A、B 昔遊びの様子(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的)A、C	めだか(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B 農家の仕事(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的) A、C	組ひこう き、かへ(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C	手紙を書いて伝えよう(国)【子ども・インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(技能的) A、C 道でほねらくん(社)【子ども・障がいのある人】(共生社会の実現)(知識的) A、C	わすれられないおくりもの(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、B、C たからさがし【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、C 同じかず だから【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、C	気持ちをつたえる話し方・聞き方(国)【子ども・インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(知識的) A、C バスの中で【子ども・高齢者】(共生社会の実現)(価値的・態度的) A、C ぼくのなみだ(きょうだい)【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、C がんばれ しろくまビー ス!【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的) A、B、C	モモモモの木(国)【子ども・同和問題】(人権的に理解する力)(技能的)A、B、C いつも ありがとう【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C 楽しいなかま【子ども】(自他の尊重)(技能的) A、B、C お互いの気持ちを通わせながら 心をつくる(ひとりひつじ)【子ども・同和問題】(自他の尊重)(技能的)A、B、C	詩を楽しもう(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、B いちばんうれしいこと【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B、C たいせつ ないのち【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C	強く心にのこっていることを(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B 昔遊びの様子と人々のくらしのうつりかわり(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的)A、C たっきゅうは 四人まで【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B、C ぼくを動かすコントローラー【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B いのちのはこぶり【子ども】(生命尊重)(知識的)A、B 学習発表会	おにたのぼうし(国)【子ども・同和問題】(人権的に理解する力)(技能的) A、C 光の国【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C ちうすぐ4年生【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的) A、B 自分や友達のがみを知り、お互いの理解を深めよう(四つの葉)【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C
道徳科	いのちのまつり スキダズージ【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B やさしさのパン【尊がいのある人】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C	心をしずめて【子ども】(自他の尊重)(知識的) A、C さとその落とし物【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C	気づいていなかったこと【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C		手ぶどうスとあ【子ども】(公正な判断)(価値的・態度的) A、C	お母さんの「ふふふ」【子ども・同和問題】(自尊感情)(価値的・態度的) A、C					
特別活動 学級活動	ぼくたちわたしたち3年生【子ども】(自尊感情)(技能的)A、B、C 友達のことを知り、自分のことを知ってもらおう(ええとこウォーキング)【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C			お楽しみ会の準備をしよう【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B、C	男の子と女の子のちがい【子ども】(性的指向・性自認)(自他の尊重)(知識的)A、B、C	友達と仲良くしよう【子ども】(公正な判断)(技能的)A、B、C					
特別活動 児童会活動	みんななかよし集会	1年生を迎える会		町内水泳大会 仕行会 代表委員会【運動会スローガン】	人権集会	伊予地区陸上大会壮行会		麻生っ子お楽しみ集会		学習発表会	6年生ありがとう集会
特別活動 学校行事	入学式	遠足 JRC登録式			人権・同和教育参観日	運動会	ウォークラリー遠足	マラソン大会			遠足 卒業式
総合的な学習の時間	祖部のステキ知らせたい【子ども・同和問題・高齢者】(共生社会の実現)(価値的・態度的)A、B、C、D										
外国語活動	Hello! あいさつをして友達になろう【外国人】(コミュニケーション能力)(知識的) A、B、D							This is for you. カードをおくろう【外国人】(コミュニケーション能力)(知識的) B、D			
家庭・地域との連携	レインボーポケット　（地域のボランティアの方による読み聞かせ活動）										
	わくわくクラブ　（地域の方にも協力いただき、放課後、算数の基礎・基本の徹底を図る）										

第4学年　人権・同和教育年間指導計画

中学年の目標

○ 自他の相違を認め、尊重しようとする意識を高め、他の人と対等で豊かな関係を築くための心地よさを味わう。
○ 身近な生活の中にある偏見や差別に気付き、理想に向かって話合いで解決していこうとする態度を身に付ける。
○ いろいろな立場の人との交流から学びを深め、相手の立場に立ちよりよい社会を築いていこうとする態度を身に付ける。

重点的個別の人権課題

同和問題　子ども
高齢者　障がいのある人
インターネットによる人権侵害

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科	つないでつないで(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B のいぼうし(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) B	見つけよう、ぴったりの言葉(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B 水はどこから(社)【子ども・同和問題】(共生社会の実現)(知識的) A、D	ごみのしょり と 利用(社)【子ども・同和問題】(共生社会の実現)(知識的) A、D		写真から読み取る(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A かうう学級会開(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A 一つの花(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C 高木家からくらしを守る(社)【子ども・高齢者・障がいのある人】(共生社会の実現)(知識的) A、D	ごんぎつね(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C 残したいもの伝えたいもの(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的) A、D	みんなが楽しめる町スポーツ(国)【子ども・障がいのある人】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B、C	ウミガメのおやつって(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A 日本と世界の音楽(音)【外国人】(共生社会の実現)(知識的) B、D 幸せを運ぶカード(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、C	くらしを便利にするために(国)【子ども・高齢者・障がいのある人】(共生社会の実現)(知識的) A、B、D 「昔列」をさがそう(国)【子ども・高齢者・障がいのある人】(共生社会の実現)(技能的) A、B、D 特色ある祭りやとんやのくらし(社)【子ども】(共生社会の実現)(知識的) A、D 三つのつつみ【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C 勇気を出して【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B	自分の成長をふり返ってみよう(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、B、D 世界とつながるわたしたちの街(社)【外国人】(共生社会の実現)(知識的) A、D ネコのサポランティア【被災者】(人権的に理解する力)(価値的・態度的) A、B、C 大切なわたし【性的指向・性自認】(多様性の尊重)(価値的・態度的) A、C 学習発表会	木をうえる(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A わたし、まちがってないよね【子ども・インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(価値的・態度的) A、B、C かわいそうなぞう【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的) A 友達のよいところを見付けて、みんなのカがんばり賞をあげよう!【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) B、C ちうすぐ6年生【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的) A、B
道徳科	あなたの時間にいのちをふきこめば【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的) A あいさつができた【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C	さち子のえがお【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B 花束プレゼント【子ども】(人権的に理解する力)(技能的) A、C	ちこく【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B 決めつけないで【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B	ぼくの本当り体験【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B	生き歩き【子ども】(人権的に理解する力)(価値的・態度的) A、B	つくられていでしょ【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的) A、B 温泉の精【子ども】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B、C	いじわるいじめ【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B、C えんとつそるのは、えんもん や!【子ども・障がいのある人】(人権的な偏見)(価値的・態度的) A、B、C やきものの町に【子ども】(人権的に理解する力)(価値的・態度的) A、B	新次のしょうぼ【子ども】(公正な判断)(価値的・態度的) A、B 朝がくると【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C		
特別活動 学級活動	友達のことを知り、自分のことを知ってもらおう(ええとこウォーキング)【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、C	学級目標を決めよう【子ども】(共生社会の実現)(技能的) A、B	秋の日の過ごし方をエ夫しよう【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A	お楽しみ会をしよう【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、C	人権について考えよう【子ども・同和問題・高齢者・障がいのある人・インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的) A、B、C	もがいのものがいを考えよう【子ども・同和問題】(自他の尊重)(技能的) A、C	だれとでも分けへだてなく助け合おうにおり おに)【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) B、C	お楽しみ会をしよう【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的) A、C		学習発表会	友達のよいところを見付けて、みんなのカがんばり賞をあげよう!【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的) B、C ちうすぐ6年生【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的) A、B
特別活動 児童会活動	みんななかよし集会	1年生を迎える会		町内水泳大会 仕行会 代表委員会【運動会スローガン】	人権集会	伊予地区陸上大会壮行会		麻生っ子お楽しみ集会			6年生ありがとう集会
特別活動 学校行事	入学式	遠足 JRC登録式			人権・同和教育参観日	運動会	ウォークラリー遠足	マラソン大会			遠足 卒業式
総合的な学習の時間	住みよい町にしよう〜廃棄っ子防災知っとき隊〜【子ども】(共生社会の実現)(価値的・態度的) A、B、D				住みよい町にしよう〜しょうがいのある人や異れい者と交流しよう〜【高齢者】【障がいのある人】(共生社会の実現)(価値的・態度的) A、C、D				住みよい町にしよう〜自分の成長をふり返り、未来の夢をえがこう〜【子ども】(共生社会の実現)(価値的・態度的) A、B、D		
外国語活動	Hello,world! 世界のいろいろなことばであいさつしよう【外国人】(コミュニケーション能力)(知識的) B、D								This is my favorite place.お気に入りの場所をしょうかいしよう【外国人】(コミュニケーション能力)(知識的) B、D		
家庭・地域との連携	レインボーポケット　（地域のボランティアの方による読み聞かせ活動）										

第５学年　人権・同和教育年間指導計画

高学年の目標

○ 教科の授業から深く学び、人権推進のために調べてきた人々の苦みについての基本的理解を通して同和問題への理解を深める。
○ 互いに信頼し、学び合って互恵を育てるとともに、多様性に対する開かれた心をもち、広がって明るい社会を築いていこうとする心と構えをもつ。
○ 生活の中にある不合理や偏見、差別を見抜め、他者の感情を共感的に受容したり、みんなの問題として主体的に解決したりする意欲と実践力をもつ。

重点的個別の人権課題

同和問題　子ども　高齢者　障がいのある人　インターネットによる人権侵害

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科		国土の地形の特色(社)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)C、D 体ほぐし運動(体)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)B、C	いつか、大切なところ(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的)B、C 低い土地のくらし(社)【子ども】(人権的に理解する力)(知識的)C When is your birthday?(外)【外国人】(英文化理解)(知識的)B、C	言葉と表現(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的)B くらしを支える食料生産(社)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、C 食のたんじょう(理)【子ども】(生命尊重)(知識的)B、C 心の健康(体)【子ども】(日常感情)(知識的)B、C	米づくりのさかんな地域(社)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)C、D	水産業のさかんな地域(社)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)C、D 大造じいさんとがん(国)【子ども】(人生社会の実現)(技能的)B、D	自動車をつくる工業(社)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、C ミニディベート Aはどのくらし(国)【子ども・同和問題・高齢者・障がいのある人・インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B、C	言葉で伝える、心を伝える(国)【子ども・インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(知識的)A、C	情報をもたらした社会と産業の発展(社)【インターネットによる人権侵害】(公正な判断)(知識的)B、C		思いをこめた表現(音)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)B、C	みすずとがしの旅(国)【子ども】(人権的に理解する力)(技能的)A、B 環境を守るわたしたち(社)【その他の重要課題】(人生社会の実現)(知識的)D 人のたんじょう(理)【子ども】(生命尊重)(知識的)B、C
道徳科		のびる大に学ぼう【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A、B 命【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的)A、B、D	ふくらんだリュックサック【子ども】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C	古いバケツ【子ども】(多様性の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 名前のない手紙【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B	ぼくの夢(きょうだい)【障がいのある人】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C	ヘレンと共に―アニー・サリバン―【障がいのある人】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、C	すれちがい【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B	うばわれた自由【子ども】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 知らない間のできごと【子ども・インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、C タンポポ城【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A、B	ベルーは泣いている【外国人】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C	くずれ落ちただんボール箱【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B マンガ家　手塚治虫【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A、B 母さんの歌【子ども】(人間の尊重)(価値的・態度的)A、B	これって不公平？【子ども・同和問題・高齢者・障がいのある人】(公正な判断)(価値的・態度的)A、C やさしいユウちゃん【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B	命の種を植えたい―能力消滅―【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的)D かぜのでんわ【子ども】(人間の尊重)(価値的・態度的)A
特別活動	学級活動	学級のめあてを決めよう【子ども】(人生社会の実現)(技能的)B、C 友達のことを知り、自分のことを知ってもらおう(質問ゲームから)【子ども】(自他の尊重)(技能的)B	自然の窓を楽しくしよう【子ども】(人生社会の実現)(技能的)C	男女の協力【子ども】(人権的に理解する力)(価値的・態度的)B、C	お楽しみ会の計画を立てよう【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B			互いの意見を聞き、まとめよう(新聞紙タワー)【子ども】(多様性の尊重)(技能的)B、C インターネットにおける人権【インターネットによる人権侵害】(公正な判断)(価値的・態度的)A、C		本当のなかま【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B	自分のことを相手に伝えよう(自分のしたいことベスト10)【子ども】(多様性の尊重)(技能的)A 学習発表会	6年生になる心構え【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A
	児童会活動	みんななかよし集会	1年生を迎える会		町内水泳大会 仕行会 代表委員会(運動会スローガン)	人権集会	伊予地区陸上大会壮行会		麻生っ子お楽しみ集会			6年生ありがとう集会
	学校行事	入学式	遠足 JRO登録式			人権・同和教育参観日	運動会	ウォークラリー遠足	マラソン大会			遠足 卒業式
総合的な学習の時間		友について考えよう【子ども・高齢者】(人生感的に理解する力)(価値的・態度的)A、B、C、D								真民さんから学ぼう【子ども・同和問題】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C、D		
家庭・地域との連携			レインボーポケット　（地域のボランティアの方による読み聞かせ活動）									

第６学年　人権・同和教育年間指導計画

高学年の目標

○ 教科の授業から深く学び、人権推進のために調べてきた人々の苦みについての基本的理解を通して同和問題への理解を深める。
○ 互いに信頼し、学び合って互恵を育てるとともに、多様性に対する開かれた心をもち、広がって明るい社会を築いていこうとする心と構えをもつ。
○ 生活の中にある不合理や偏見、差別を見抜め、他者の感情を共感的に受容したり、みんなの問題として主体的に解決したりする意欲と実践力をもつ。

重点的個別の人権課題

同和問題　子ども　高齢者　障がいのある人　インターネットによる人権侵害

		4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各教科		わたしたちのくらしと日本国憲法(社)【子ども・高齢者・障がいのある人・同和問題】(ほかの６年３単元)(知識的)A、C	子育て支援の願いを実現する政治(社)【子ども】(自他の尊重)(知識的)B、C	病気の予防(体)【エイズ患者・HIV感染者】(公正な判断)(知識的)A、C Welcome to Japan.(外)【外国人】(コミュニケーション能力)(知識的)A、C	川とバケツ(国)【子ども】(生命尊重)(知識的)A、C ひろがる詩書の世界(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(知識的)A、B	なぜ、わが子をたたかのかな？(国)【インターネットによる人権侵害】(コミュニケーション能力)(知識的)A、C 今に伝わる国町文化(社)【同和問題】(差別を見抜める力)(知識的)A、C	きつねの窓(国)【子ども】(生命尊重)(知識的)A、C 国境のある文章を書こう 十二歳の主張(国)【子ども】(コミュニケーション能力)(知識的)A、B 戦国の世から天下統一へ(社)【同和問題】(差別を見抜める力)(知識的)A、C 江戸幕府と政治の安定(社)【同和問題】(差別を見抜める力)(知識的)A、C	新しさまざまな願い・中学校(社)【同和問題】(差別を見抜める力)(知識的)A、C 明治の新しい国づくりを進める人々(社)【同和問題】(差別を見抜める力)(知識的)A、C 世界に歩み出した日本(社)【同和問題】(人生社会の実現)(知識的)A、C ぼくの世界、君の世界(国)【子ども・インターネットによる人権侵害】(人生的に理解する)(知識的)A、B、C	My Best Memory .(外)【外国人】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B	長く続いた戦争と人々のくらし(社)【その他の重要課題】(生命尊重)(知識的)A、C 共に生きる地域での生活(家)【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、B、D	津田梅子　未来をきりひらく(人)への思い(国)【子ども】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、B	ひろがる言葉(国)【子ども】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、B 世界の未来と日本の役割(社)【子ども・同和問題・高齢者・障がいのある人・女性・広報紙による発見問題】(公正な判断)(知識的)A、C
道徳科		命のアサガオ【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的)A、C 生きることをあきらめない【子ども・障がいのある人】(生命尊重)(価値的・態度的)A、C 鼻高々やにって【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A、B、C	言葉のおくり物【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C	わたしのせいじゃない【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的)A、C 心づかいと思いやり【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C	ぼくだって【子ども】(人生的に理解する力)(技能的)A、C カスミと携帯電話【子ども・インターネットによる人権侵害】(自尊感情)(技能的)A、B、C	ほんとうのことだけど…【子ども・同和問題】(公正な判断)(価値的・態度的)A、C ブランコ乗りはどこ(国)【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 山の神(きょうだい)【同和問題】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、C	ロレンゾの友達【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 東京オリンピック開催にわき上がる思い・【外国人】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 楽しいウォークラリー遠足にしよう【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、C 言葉遣いと人柄【子ども・インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C	人の世に熱あれ、人間に光あれ(きょうだい)【同和問題】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、C 自分を守るカって？【子ども・インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 学級の問題を解決しよう【子ども】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 人権について考えよう【同和問題】(差別を見抜める力)(価値的・態度的)A、C お互い全力切にしながら【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、C	地球を一周歩いた青一伊能忠敬一【子ども】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、B	エルトゥールル号一日本とトルコのつながり一【外国人】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 杉原千畝―大勢の人の命を守った外交官―【子ども】(公正な判断)(価値的・態度的)A、C 3学期の係を決めよう【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、C 自分の得意なことを聞いてもらおう(私の三大ニュース)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、C	おかげさまで【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 学校に思い出しましょう【子ども】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C わたしたちの生活といろいろな情報【インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C 学習発表会	その思いを受け継いで【子ども】(生命尊重)(価値的・態度的)A、C もうすぐ中学生【子ども】(自尊感情)(価値的・態度的)A、C お別れ会をしよう【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、C
特別活動	学級活動	学級の係を決めよう【子ども】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 学級の目標を決めよう【子ども】(人生社会の実現)(価値的・態度的)A、C 友達のことを知り、自分のことを知ってもらおう(質問ゲーム)【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B、C	楽しい修学旅行【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、C	ここちのキャッチボール【子ども・同和問題】(差別を見抜める力)(技能的)A、C		3学期の係を決めよう【子ども】(人生社会の実現)(知識的)A、C 多様な考え方に気付こう【個人差(LGBT)】【子ども】(多様性の尊重)(価値的・態度的)A、C	楽しいウォークラリー遠足にしよう【子ども】(人生社会の実現)(技能的)A、C 言葉遣いと人柄【子ども・インターネットによる人権侵害】(自他の尊重)(価値的・態度的)A、B、C		地球を一周歩いた青一伊能忠敬一【子ども】(人間の尊厳)(価値的・態度的)A、B			
	児童会活動	みんななかよし集会	1年生を迎える会		町内水泳大会 仕行会 代表委員会(運動会スローガン)	人権集会	伊予地区陸上大会壮行会		麻生っ子お楽しみ集会			6年生ありがとう集会
	学校行事	入学式	遠足 JRO登録式			人権・同和教育参観日	運動会	ウォークラリー遠足	マラソン大会			遠足 卒業式
総合的な学習の時間		平和について考えよう【子ども・同和問題・高齢者・障がいのある人・インターネットによる人権侵害】(人生的に理解する力)(価値的・態度的)A、B、C、D							グローアップ～将来に向けて～【子ども】(コミュニケーション能力)(技能的)A、B、C、D			
家庭・地域との連携			レインボーポケット　（地域のボランティアの方による読み聞かせ活動）									

６．推進体制（都道府県・指定都市教育委員会等を含む）

